

第 1 回増林地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回増林地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 7 月 24 日（水） 19 時～20 時 45 分
参加者数	21 人
事務局	市長公室：徳沢政策担当部長 政策課：山元副部長(兼)課長、戸張調整幹、関根主事 都市計画課：北村副課長、大熊主事 市民活動支援課：川本主幹 増林地区センター・公民館：石原所長 ランドブレイン：石村氏、伊藤（進）氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議題 (1) 地区まちづくり会議について (2) 会長・副会長の選出について (3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について (4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について (5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について (6) 越谷市及び地区の現状と土地利用の動向について (7) その他 5 閉会
質疑応答	(1)地区まちづくり会議について ・ 質疑なし (2)会長・副会長の選出について ・ 委員の互選により、会長・副会長が選出される。 (3)第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について 質疑：自主防災組織育成事業で組織率が 89.6%となっているが、具体的な数値をお聞きしたい。そもそも自主防災組織とは何か。 回答：次のご報告、説明させていただく。なお、自主防災組織は自治会単位で設置している。 質疑：橋りょう耐震化整備事業について、増林地区の数値を出してほしい。 回答：地区に細分化できるものは、次回提示させていただく。 質疑：ハザードマップを配布していただきたい。 回答：次回提供させていただく。 質疑：高齢者就業支援事業の数値が 100 万人になっている。単位が分かりにくい。 回答：分かりやすく資料を作成したい。

	<p>(4)越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について 質疑：都市計画図を掲示していない。できれば配布してほしい。 回答：次回の会議で、都市計画図をお配りする。(1/20,000の縮尺) 質疑：目標3に快適な道路とあるが、大渋滞である。</p> <p>(5)地区まちづくり会議提言書の進捗状況について 質疑：目標④で、用地買収が難しいという消極的な説明があった。頑張るといふ姿勢が必要ではないか。 回答：現状、用地買収が困難であるという説明はしたが、説明責任があるということから紹介させていただいている。 質疑：実施中と検討中と、グレーゾーンがあるのではないか。検討中でも困難に近いもの、実施に近いものなどあるのでは。 回答：詳細なデータを提供させていただく。</p> <p>(6)越谷市及び地区の現状と土地利用の動向について 質疑：増林地区以外の動向の特徴は。 回答：新方地区が特に高齢化が進行していると思われるが、手元に資料がないので次回準備する。</p> <p>(7)その他 質疑：資料は、事前に送付いただけないか。 回答：次回以降はグループワーク、ワークショップを予定しているので、資料は予定していない。事前に送付が必要な資料がある場合は、対応させていただく。</p>
意見交換	<p>質疑：説明についていくのが大変である。プロジェクターで投影すれば、どこを説明されているか分かりやすい。 回答：貴重なご意見をありがとうございます。 質疑：公共施設を茶色に整備していたが、いつごろ止めたのか。 回答：20年以上前、アーバンデザインということで茶にしていこうということだったが、現在は立ち消えになっている。</p>

第2回増林地区まちづくり会議の記録

会議名	第2回増林地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年8月9日(金) 19時~20時40分
参加者数	15人
事務局	政策課：戸張調整幹、関根主事 都市計画課：北村副課長、大熊技師 市民活動支援課：川本主幹 増林地区センター・公民館：石原所長 ランドブレイン：石村氏、伊藤(進)氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 第1回会議質疑への回答 4 グループワーク (1) グループワークの概要について (事務局より説明) (2) グループワーク「地区の現状と将来のまちづくり」(ランドブレインより進行) ① 地区の強みと弱みについて ② 将来のまちづくりの目標について 5 その他 6 閉会
質疑応答	(質疑なし)

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

＜A グループの意見＞

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
住みよい 住み続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まる場が欲しい ・調整区域の活性化 ・調整区域の有効活用方法の検討 ・調整区域の主要な軸となる道路の整備 ・人口を増加させる ・子供と大人と一緒に参加できるイベントを増やす ・各自治会の活動に温度差がある ・40歳代の地域活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺がある ・坂道がない（地区全体が平坦である） ・地域に結束力がある（増林・増森・中島） ・自然が多い ・住んでいる人があたたかい ・かかしまつり
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ・防災スピーカー ・交差点付近のバリアフリー化 ・歩道を確保する ・自転車優先道路を整備する ・マルサン付近の渋滞 ・池中建設前の道路に信号を設置する ・遠方に住んでいる小学生用のスクールバス運行 	
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館を設置してほしい（コスモス、ミラクルレベルのもの） ・交番を増やす ・公園にネットを張り、ボール遊びができるスペースを確保する ・高齢になり公民館へ行きにくい ・施設は多いが看板（サイン）が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設が多く立地している ・増林小学校の雰囲気が良い
自然環境		<ul style="list-style-type: none"> ・水辺があり、土手を散歩できる ・自然が多い
PR	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコットをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の良さをPRする コミュニティ活動 公共施設が多く便利 住んでいる人のあたたかさ 田んぼアート 自然の豊かさ

② 将来のまちづくりについて（キーワード）

- 住みよい地域づくり
- 安全安心なまちづくり
- 公共施設の利便性の向上
- 地区のPR

＜Bグループの意見＞

③ 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
安全なまち 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・川に囲まれていて水害が心配 ・排水機場の整備 ・集中豪雨の時、低い土地に水が溜まりやすい ・災害時の避難 ・増林小学校に耐震性飲料用貯水槽がない 	
公共施設 公園の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市立病院の老朽化 ・イチゴタウンの今後について ・道の駅の整備について ・体育館、野球場近くの駐車場が少なく、歩道が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設が多く便利 ・公園が多い ・桜並木が良い ・緑道が便利 ・田んぼアート
道路・交通 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便 ・道路が狭い、舗装が悪い ・橋りょう（千代田橋、東橋）の耐震化 ・信号機の連携が悪く、渋滞が多い ・浦和野田線の整備 ・コミュニティバスの運行 ・公共施設へのアクセスについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・橋が多いまち
コミュニティ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいがない ・地域活動への参加 ・自治会への加入 ・子ども、若者の参加 ・ごみ捨ての問題 	
田園景観 緑・桜並木	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地対策 ・田畑等へのごみの不法投棄対策 ・水田の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの景色が良い ・田んぼアートが良い ・桜並木が良い ・富士山がよく見える ・緑の保全 ・屋敷林 ・展望台

④ 将来のまちづくりについて（キーワード）

- コミュニティ（公共施設・公園の活用）
- 田園景観（緑・桜並木）
- 安全・安心ネットワーク

第3回増林地区まちづくり会議の記録

会議名	第3回増林地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年9月12日(木) 19時~20時40分
参加者数	15人
事務局	政策課：戸張調整幹、関根主事 都市計画課：北村副課長、大熊技師 市民活動支援課：川本主幹 増林地区センター・公民館：石原所長、大附主事 ランドブレイン：石村氏、伊藤(進)氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク「将来のまちづくりの目標実現に向けた取組」 ① 「自分たちでできる取組」と「支援が必要な取組」の抽出 ② 「すぐにできる取組」と「時間がかかる取組」の整理 4 その他 5 閉会
質疑応答	(質疑なし)

■ワークショップ「将来のまちづくりの目標実現に向けた取組」

＜A グループの意見＞

コミュニティ・公共空間の活用

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流を進める ・地区として活動はたくさんやっている ・地区で開催したときめきチャレンジましばやしには1万人が集まった ・どうやって参加していただくかを考える ・宣伝は自治会員のみでよいか 	
自治会・地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間の活動の差を踏まえた取組 ・他の自治会の良い取組を活用する ・自治会によって活動に差がある ・神社のイベント活用 ・自治会の加入率を上げる ・加入する必要性を感じない、災害が少ない ・アパートの人が自治会に入らない傾向 ・高齢化して活動が大変になった ・子ども会の役員が大変で子どもの卒業時に辞める人も 	<ul style="list-style-type: none"> ・（自治会の）PR ・（自治会への）補助金 ・ごみ捨て場を教えてほしい ・不動産協会、自治会、市が連携した取組を開始する
公共施設		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の整備（博物館、歴史館、児童館、道の駅など） ・地区センター前の道路の拡張（浦和野田線と東埼玉道路を連絡）

定住環境・PR（住みよい環境づくり）

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
イベント・まつり	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな取組を行っている ・かかし祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市的イベントの開催
調整区域	<ul style="list-style-type: none"> ・千寿（千住）ねぎ ・くわい、ねぎ・・・ ・農家の高齢化 ・米をやるなら、20町歩はやらないと ・いちごなどの6次産業化 ・メロン（今のところ、甘さが足りない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物のブランド化 ・農家の法人化 ・観光イチゴ園 ・工業団地、カジノ、レジャー施設・・・
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は、土日は子どもたちへ ・高齢者が公園を占用している（グランドゴルフ） ・子どもたちも含め地域住民が集う公園 ・公園に制約が多い（ボール、花火など） ・時間を決めて公園を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理、運用方法 ・誰でも使える公園 ・学校の校庭の開放（学童優先になっている）

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポート（公民館、コミ協） ・マッシークラブ（子育てサポート終わった人） ・きらりんプロジェクト実施（200人）、中学生がボランティアで参加 ・ふれあいサロン ・河川堤防、遊歩道を使って健康づくり ・自治会で健康相談 ・健康体操 ・夏休みラジオ体操 ・体育祭（各自治会で予選会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターにラジオ体操のカードを用意してある ・イベントへの支援 ・遊歩道に照明、防犯カメラ設置
PR	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコットを作る ・増林カルタを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市のイベントを開催する

《Bグループの意見》

安全安心・ネットワーク（安全安心なまちづくり）

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・台風対策を考える ・防災訓練（連合2年に1回、地域年に1回） ・避難場所の周知（自治会に加入していない人への） ・自治会ごとの火の用心、見守り 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備品（ジャッキ、リヤカー、飲料）の支援 ・避難の誘導看板
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯の啓発活動 ・青パトカーによる防犯活動（各自治会年2回） ・登下校時の老人会の自主的見守り（7：00～8：30、14：00～15：30） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への防犯カメラの設置 ・橋に防犯カメラ（増林は川に囲まれている）
公共交通ネットワーク		<ul style="list-style-type: none"> ・バスの交通不便地区への増便
道路・橋、駐車場	イベント日が重複しないよう日程の調整	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの耐震化 ・生活道路の拡幅

自然環境・田園景観・桜並木

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の草刈り（5月、8月） ・自治会で年2回ごみ拾い 	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の禁止の看板 ・たばこのポイ捨て対策（バス停など） ・ホテルの保全
田園・農地の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の農業体験、田植え体験 ・コミュニティ協議会の大根、じゃがいも収穫体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・地主の管理指導
桜並木景観	<ul style="list-style-type: none"> ・花見・BBQのごみ処理 ・公園の植栽にペットボトル、空き缶のポイ捨て禁止看板 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園へのトイレの設置
河川環境	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道のウォーキング ・不法投棄の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具の設置 ・新方川の草刈りを年4回実施 ・遊歩道の照明灯の設置
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・神社仏閣の祭り 	

第 4 回増林地区まちづくり会議の記録

会議名	第 4 回増林地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 10 月 15 日（火） 19 時～20 時 15 分
参加者数	13 人
事務局	<p>市長公室：徳沢政策担当部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)課長、戸張調整幹、関根主事</p> <p>都市計画課：北村副課長、大熊技師</p> <p>市民活動支援課：川本主幹</p> <p>増林地区センター・公民館：石原所長、小野田主事</p> <p>ランドブレイン：石村氏、伊藤（進）氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>（1）提言書（案）について</p> <p>（2）将来像の見直しについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
意見交換	<p>3 議題</p> <p>（1）提言書（案）について</p> <p>意見：5 ページ、目標 2 の農地の保全と活用の市への期待について、現状は農地でありながら資材置場になっているところがあり、市で行政指導しながら許可していると感じている。不法になっているのか、分からないが、そのような表現を入れることができないか。</p> <p>意見（農業委員）：今のご意見の件について、資材置場や工場などが建っているところがあるが、農業委員会の許可がないところは、すべて違法である。建ってしまったものについてはどうしようもできない。本来なら行政指導がなされるべきだが、そこまでできていないのが現状である。まだ、増林は良い方だが、市全体ではもっと広がっている。近年は厳しくなり、ほとんどなくなった。</p> <p>委員（農業委員）：以前は第 1 種農地と第 2 種農地の区分が無かった。</p> <p>委員（農業委員）：増林の場合は、土地改良区もあり、その許可がないと本来なら宅地化できない。</p> <p>意見：その点を市で積極的に指導してほしい。大きい車が入ってきて壊れた農道の整備にお金をかけているものおかし。</p> <p>委員（農業委員）：農道だけでなく、そこに入っているパイプラインも壊れてしまう。1 か所修繕すると 100 万円くらいかかる。近年では 7 か所の修繕を行って約 700 万円かかっている。農家から 1 反あたりいくらと負担している中からの出費である。</p> <p>会長：これ以上悪化しないように、市の行政指導にも力を入れてほしい。どのように文言を直すか。</p>

意見：目標に景観という言葉が入っているが、農地の中にポツンとあるのは景観的にもあまりよくない状況である。

意見：農地を手放すのはそれなりの理由もあることなので、周りがやみくもに反対もできない。しかし、第1種農地については転用ができなくなっている。

回答：保全と活用に分け、「農地の良好な保全」と「農地の良好な活用の検討」とさせていただければと思う。

委員（農業委員）：上組一区農地保全組合から農地を保全する区域を拡大する取組を紹介させていただく。増林の農地を不法投棄されないよう、適切に利用されるよう、取り組んでいるところであり、約28ヘクタールについて、地権者138人の了解を得て行う事業である。できれば、増林全地区で取り組んでいければと思う。小さい田が多いが、大きく区画することで、保全を図っていく。非農家との交流も進めていきたい。

委員：農地の有効な活用という回答があったが、有効ではなく、良好という言い方にすべき。宅地化や資材置場にすることも有効活用と言われてしまう。

回答：良好という文言に修正させていただく。

意見：6ページ、災害に備えた取組の推進について、自治会未加入者に対して、被災時に加入者の会費で建てた自治会館の利用を断ることはできない。その点ももっと自治会に加入していただくよう説明することも必要ではないか。

会長：防災マップは全戸に配布する予定である。この文章に「特に自治会未加入者」を入れる必要はないのではないか。

意見：加入者を増やすアピールにつながるのではないか。括弧書きで残してもよいのではないか。

会長：自治会への未加入者に加入していただけるよう取組を行っている。

意見：1ページの下の方に「自治会加入率の低下」という課題があるので、その対策をどこかに書いた方がよい。

回答：4ページ、地域における交流機会の拡充、「コミュニティ活動への支援」の中に「自治会加入の促進」も含まれているが、その辺を強調することも考えられる。貴重なご意見ですので、少し検討させていただき、会長・副会長の一任にさせていただく方向でよいでしょうか。

会長：そのように進めさせていただく。

(2) 将来像の見直しについて

意見：第4次の将来像を達成するために取り組んできているので、変える必要はないと思う。第4次で達成できていればよいが、まだ達成できていないので変える必要はないと思う。

意見：第4次の増林地区の将来像は、良い将来像だと思う。

意見：快適だけではなく、「安心」「安全」を入れたらどうか。

意見：「安心」「安全」は、「快適」に含まれると考えてよいと思う。

会長：達成するまでこのままでいくことでよいか。

委員：（賛成）

4 その他

- ・ 本日の意見を踏まえた修正・確認については、会長・副会長に一任する。
- ・ 審議会委員の選出について、協議した。

以上